



樋浦邸居間

真 / ABE 写真工房

建築主からの一言

樋浦 修臣

やはり「家」に対する考え方や主張が同じ、または、共感できること、これが一番大事な事だった様と思います。プラン作り以外、特に口出ししなくても、こだわりたい部分を私達以上にこだわっていただいたので、安心して家造りを楽しむことが出来ました。「家」は家族と共に成長し造られていくもの、命を吹き込んでくださったスタッフの皆様へ感謝しつつ、これからは私達が育てていきたいと思っています。

施工者からの一言

丸西建材有限会社 代表取締役 西塚 健治

設計者の稗田さんとは、さんむフォレストの種をいっしょにしている関係から、今回の仕事も戸惑うことなく進めることができました。私の会社は、本来材木屋です。山の立木を伐採し、丸太を製材し、地元の大工さんに販売することが本当の仕事だと思っています。今は、製材品の販売だけではなく、建築工事の方が主な仕事になっていますが、地元にある木材を有効に使った仕事が少なくなってきている中、今回のような住宅を建築することは、材木屋にとって大変やる気の出る仕事でした。このような住宅が1件でも多く建つことが、地元の林業の活性化と、森林環境の改善に役立つと信じて今回の仕事もさせて頂きました。少しでも、地元の為にご貢献出来ることを願って、さんむフォレストの種を繋ぎたいと思っています。

樋浦修臣邸

所在地/千葉県取手市あすか丘	構造/木造 規模/2階建
設計/有限会社丸西総合建設事務所	床面積:136.88㎡ (41.41坪)
協力/本間一夫	建築面積:83.22㎡ (26.70坪)
施工/丸西建材有限会社	設計期間/2001年1月~2001年12月
棟梁/伊藤善樹 (さんむフォレスト建設部)	工事期間/2001年12月~2002年7月
工事種別/新築工事	

地域作りにつながる住まいづくり

設計者 稗田 忠弘

樋浦邸は周囲をハウスメーカーの家で囲まれた環境の中で、東南側が雑木林に面した比較的恵まれた立地です。建築主はご夫婦揃ってかなりの時間を掛けて住まい作りの準備をしてこられたので、設計に対する要求は明快でした。「健康的な木の家で暮らす」とご希望でしたので、プランが決定した後は、さんむフォレストの標準的な仕様で十分要求を満たすことができました。杉厚板の床、壁、厚野地表しの屋根などの他、現場集積の階段、Bw 建具など、さんむフォレストが試行し実用化してきたほとんどの要素が用いられています。また、極力金物を使わない伝統工法で構造材を表すデザインと、かなりの量の電気配線を絶妙な工夫で両立させるなど、施工者とのコラボレーションがこの住宅の完成度を高めています。